

医療機関における外国人患者の受入に係る実態調査
調査票A(病院用)医療機関における受入体制に関する調査票

【本調査の目的】

本調査は、各医療機関の外国人患者受入れ体制の状況等の実態を把握する目的で行うものです。各都道府県の今後の体制整備に活用するため、各医療機関の所在する都道府県にも個別病院の回答内容を共有しますので、予めご了承ください。

【記入上の注意】

- 本調査の調査票は、全国の病院及び抽出された診療所を対象とした調査票A及びBから構成されています。
- 調査票A(病院用)は、貴院における外国人患者受入れ体制の状況等についてお尋ねするものです。
※外国人とは、日本の国籍を有さない者をいいます。
- 本調査票においては、特に別の記載がある場合を除き令和7年9月1日時点の状況をお答えください。
- 回答いただいた選択肢によっては、以降の項目で回答する必要がない設問の回答欄が網掛けで塗られる仕様になっています。網掛けされた項目は回答不要です。
- 外国人患者の受入れの有無も含めた実態調査のため、外国人患者の受入れ実績がない医療機関におかれても調査にご協力いただきたく、現状の体制をご記入のうえご提出ください。

【お問い合わせ先】

■調査に関するお問い合わせ
株式会社CCNグループ
TEL: 03-4400-4668(平日9時30分～17時30分)
※回答後の内容修正につきましては上記

■G-MISシステムに関する質問について
厚生労働省G-MIS事務局
「よくあるお問い合わせ」は本画面の前ページ画面上部の「FAQ」タブを押下しご確認ください。
※「その他」タブからも「FAQ」タブを表示できます。

1. 基本情報

1-1. 貴院の基本情報をご記入ください。

医療機関名			
保険機関コード	レセプトに記載される「都道府県コード(2桁)+点数表コード(1桁)+医療機関コード(7桁)」を組み合わせた10桁の数値		
1日平均患者数	令和6年度(2024年4月1日～2025年3月31日)の1日平均患者数※(日本人・外国人を問わず)		
	1日平均外来患者数	名	※医療施設調査(https://www.mhlw.go.jp/toukei/list/79-1.html)と同様に、1日平均外来患者数は「年間外来患者延数を365日で割った値」、1日平均在院患者数は「年間在院患者延数を365日で割った値」をいいます。小数点第一位を四捨五入し、整数でご記入ください。
	1日平均在院患者数	名	

1-2. 医療機関の種別について、以下から貴院に該当するもの全てにクリックしてチェックを入れてください※。

※該当する医療機関種別がない場合は空欄にしてください。

医療機関の種別	回答
1. 地域医療支援病院	☐
2. 第2次救急医療機関	☐
3. 救命救急センター	☐
4. 災害拠点病院	☐
5. 周産期母子医療センター	☐
6. ジャパンインターナショナルホスピタルズ※1	☐
7. JMIP認証病院※2	☐

※1 一般社団法人Medical Excellence JAPANにより推奨されている医療機関をいいます。
※2 一般財団法人日本医療教育財団により認証された医療機関をいいます。

2. 厚生労働省等による外国人患者の受入れに関する取り組みについて

厚生労働省等による外国人患者の受入れに関する取り組みについて伺います。
以下の8つの取り組みについて、各ホームページにアクセスして内容を確認した後、
該当する回答を選択肢から選んでください。

質問	回答
1. 外国人患者の受入れのための医療機関向けマニュアル https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000173230_00003.html	☐ 利用したことがある ☐ 内容を知っていたが利用したことはなかった ☐ 名前は聞いたことがあったが内容は知らなかった ☐ 知らなかった
2. 希少言語に対応した遠隔通訳サービス https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryoku/iryoku/newpage_00015.html	☐ 利用したことがある、あるいは登録している ☐ 内容を知っていたが、必要がなかったので登録していない ☐ 名前は聞いたことがあったが内容は知らなかった ☐ 知らなかった
3. 夜間・休日ワンストップ窓口 https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryoku/iryoku/newpage_00020.html	☐ 利用したことがある ☐ 内容を知っていたが利用したことはなかった ☐ 名前は聞いたことがあったが内容は知らなかった ☐ 知らなかった
4. 外国人患者受入れ医療コーディネーター養成研修 https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000202921_00049.html ※上記URLは令和6年度のもので。令和7年度も養成研修を実施する予定です。	☐ 利用したことがある ☐ 内容を知っていたが利用したことはなかった ☐ 名前は聞いたことがあったが内容は知らなかった ☐ 知らなかった
5. 外国人向け多言語説明資料 一覧 https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryoku/iryoku/kokusai/setsumeiml.html	☐ 利用したことがある ☐ 内容を知っていたが利用したことはなかった ☐ 名前は聞いたことがあったが内容は知らなかった ☐ 知らなかった
6. 外国人患者受入れ情報サイト https://internationalpatients.jp/ ※上記URLには、外国人患者対応や受入れ体制整備に役立つ様々な情報が掲載されています。	☐ 利用したことがある ☐ 内容を知っていたが利用したことはなかった ☐ 名前は聞いたことがあったが内容は知らなかった ☐ 知らなかった
7. 訪日外国人受診者医療費未払情報報告システム https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000202921_00012.html ※上記 URLでは「訪日外国人の受診時対応チェックリスト」及び「受付で使える訪日外国人受診者対応簡易手順書」のご用意もあります。	☐ 医療機関登録をしている ☐ 内容を知っていたが、医療機関登録をしていなかった ☐ 名前は聞いたことがあったが内容は知らなかった ☐ 知らなかった
8. 外国人患者受入れ医療機関認証制度（JMIP） http://jmip.jme.or.jp/	☐ 認証を取得している ☐ 認証を取得するために準備・検討している ☐ 取得はしない方針、または認証を取りやめた ☐ 認証制度を知らなかった

3. 外国人患者に対応する体制について

3-1. 貴院における外国人患者の受入れに関する体制について伺います。

質問	回答
1. 自院における外国人患者数	☐ 把握している⇒3-1-2. 外国人患者の詳細へ ☐ 把握していない⇒3-1-3. 外国人患者の受入れ体制の現状把握および課題抽出へ
2. 外国人患者の詳細(1が該当する場合に複数選択可)	☐ 国籍別の外国人患者数 ☐ 訪日・在留区分別の外国人患者数 ☐ 外国人患者に占める使用言語の内訳 ☐ その他 その他について具体的にご記入ください。
3. 外国人患者の受入れ体制の現状把握および課題抽出※ ※「外国人患者の受入れのための医療機関向けマニュアル (https://www.mhlw.go.jp/content/10800000/000795505.pdf#page=44)」の43ページ目 に記載されている、「受入れ体制の現状および課題の抽出」を参考に回答ください。	☐ 実施している ☐ 実施を検討中である ☐ 実施していない
4. 自院における「外国人患者受入れ体制整備方針」※について ※外国人患者受入れ体制整備方針とは、「外国人患者の受入れのための医療機関 向けマニュアル (https://www.mhlw.go.jp/content/10800000/000795505.pdf#page=45)」の44ページ目 に記載されている、医療費の設定、医療費概算の提示方法、通訳体制、院内文書の 多言語化、マニュアルの整備などを検討することをいいます。	☐ 整備している ☐ 作成中(作成検討中)である ☐ 整備していない

3-2. 外国人患者を受入れる体制の整備状況について伺います。

質問	回答
1. 外国人患者対応の専門部署	☐ 部署あり⇒3-2-2. 職員数へ ☐ 部署の設置を検討中である⇒3-2-3. マニュアルへ ☐ 部署なし⇒3-2-3. マニュアルへ
2. 外国人患者担当の専門部署の職員数	人
3. 外国人患者対応マニュアルの整備状況	☐ 整備している ☐ 作成中(作成検討中)である ☐ 整備していない

3-3. 外国人患者受入れ医療コーディネーター※について伺います。

※外国人患者受入れ医療コーディネーターとは「外国人患者を受入れるための院内や院外関係者との調整を中心となってコーディネートする役割を担う職員」をいいます。通訳のみの役割を担う職員は「外国人患者受入れ医療コーディネーター」には該当しません。

質問	回答
1. 外国人患者受入れ医療コーディネーターの人数	☐ 0人 ☐ 1人 ☐ 2人 ☐ 3人以上 ⇒3-4. 医療通訳へ } ⇒ 3-3-2. 専任・兼任の別へ }
2. 専任・兼任の別	☐ 専任のみ配置 ☐ 専任・兼任とも配置 ☐ 兼任のみ配置 ⇒3-3-5. 常勤・非常勤の別へ ⇒3-3-3. 職種へ ⇒3-3-3. 職種へ
3. (兼任の場合)医療コーディネーターの職種 (該当するもの全てにチェック)	☐ 医師 ☐ 看護師 ☐ その他医療関係の有資格者 ☐ 事務職員(医療通訳を除く) ☐ 医療通訳 ☐ その他 ⇒3-3-4. 医療通訳を兼務している医療コーディネーターの人数へ ※医療通訳を兼務している医療コーディネーターがいない場合は 3-3-5. 常勤・非常勤の別へ
4. 医療通訳を兼務している医療コーディネーターの人数	☐ 1人 ☐ 2人 ☐ 3人以上
5. 常勤・非常勤の別	☐ 常勤のみ配置 ☐ 常勤・非常勤とも配置 ☐ 非常勤のみ配置
6. コーディネーターがカバーしている日時	☐ 平日の日勤帯のみ ☐ 平日と休日の日勤帯のみ ☐ 平日のみの24時間 ☐ 平日と休日の24時間 ☐ その他
7. コーディネーターの役割 (該当するもの全てにチェック)	☐ 外国人患者対応に特有の院外関係者(大使館や旅行会社、通訳者など)との連絡調整 ☐ 日本人患者でも発生する院外関係者(地域の医療機関や保健所など)との連絡調整 ☐ 院内の部署・職種間の連絡調整 ☐ 患者や患者家族とのコミュニケーション ☐ 自身による通訳の実施 ☐ その他 ⇒3-3-8. 対応言語へ その他について具体的にご記入ください。
8. (自身による通訳を実施している場合)対応言語 (該当するもの全てにチェック)	☐ 英語 ☐ 中国語 ☐ 韓国・朝鮮語 ☐ ポルトガル語 ☐ スペイン語 ☐ ベトナム語 ☐ ロシア語 ☐ タガログ語 ☐ その他 その他について具体的にご記入ください。

3-4. 医療通訳について伺います。

質問	回答
1. 医療通訳の人数	☐ 0人 ☐ 1人 ☐ 2人 ☐ 3人以上 ⇒3-4-7. 患者自身による医療通訳の手配へ } } } ⇒3-4-2. 専任・兼任の別へ
2. 専任・兼任の別	☐ 専任のみ配置 ☐ 専任・兼任とも配置 ☐ 兼任のみ配置 ⇒3-4-4. 常勤・非常勤の別へ ⇒3-4-3. 職種へ ⇒3-4-3. 職種へ
3. (兼任の場合)医療通訳の職種 (該当するもの全てにチェック)	☐ 医師 ☐ 看護師 ☐ その他医療関係の有資格者 ☐ 事務職員(医療コーディネーターを除く) ☐ 医療コーディネーター ☐ その他
4. 常勤・非常勤の別	☐ 常勤のみ配置 ☐ 常勤・非常勤とも配置 ☐ 非常勤のみ配置
5. 医療通訳がカバーしている日時	☐ 平日の日勤帯のみ ☐ 平日と休日の日勤帯のみ ☐ 平日のみの24時間 ☐ 平日と休日の24時間 ☐ その他
6. 対応言語 (該当するもの全てにチェック)	☐ 英語 ☐ 中国語 ☐ 韓国・朝鮮語 ☐ ポルトガル語 ☐ スペイン語 ☐ ベトナム語 ☐ ロシア語 ☐ タガログ語 ☐ その他 その他について具体的にご記入ください。
7. 患者が日本語でコミュニケーションがとれない場合は、患者自身で医療通訳を手配してから来院するように、患者に案内している(医療機関のホームページ等による案内も含む)	☐ はい ☐ いいえ

3-5. 電話医療通訳(遠隔通訳)※について伺います。
※電話医療通訳とは、映像を伴わない音声のみの遠隔通訳をいいます。

質問	回答
1. 電話医療通訳(遠隔通訳)の利用の有無	☐ 利用している⇒3-5-2. 事業者名へ ☐ 利用していない⇒3-6. ビデオ医療通訳へ
2. 利用している事業者名(サービス) (該当するもの全てにチェック)	☐ メディフォン ☐ 日本エマージェンシーアシスタンス ☐ ブリッジマルチリンガルソリューションズ ☐ ビーボーン ☐ コニカミノルタ(MELON) ☐ 東和エンジニアリング(Medi-Way) ☐ 賠償責任保険等の医療機関が加入する保険に付帯された通訳サービス ☐ 自治体等による通訳サービス ☐ 厚生労働省「希少言語に対応した遠隔通訳サービス」 ☐ その他 その他について具体的にご記入ください。
3. 電話医療通訳(遠隔通訳)がカバーしている日時 (複数のサービスを利用している場合は最も頻度の高いもの)	☐ 平日の日勤帯 ☐ 平日の夜間帯 ☐ 休日の日勤帯 ☐ 休日の夜間帯 ☐ 平日・休日問わず24時間 ☐ その他
4. 電話医療通訳(遠隔通訳)で利用したことのある言語 (該当するもの全てにチェック)	☐ 英語 ☐ 中国語 ☐ 韓国・朝鮮語 ☐ ポルトガル語 ☐ スペイン語 ☐ ベトナム語 ☐ タイ語 ☐ その他 その他について具体的にご記入ください。

3-6. ビデオ医療通訳(遠隔通訳)※について伺います。
※ビデオ医療通訳とは、映像を伴う遠隔通訳をいいます。

質問	回答
1. ビデオ医療通訳(遠隔通訳)の利用の有無	☐ 利用している ☐ 利用していない ⇒3-6-2. 事業者名へ ⇒3-7. タブレット端末等へ
2. 利用している事業者名(サービス) (該当するもの全てにチェック)	☐ メディフォン ☐ コニカミノルタ(MELON) ☐ 東和エンジニアリング(Medi-Way) ☐ テリロジーサービスウェア(みえる通訳) ☐ ニチイ(おまかせグローバルトーク) ☐ 自治体等による通訳サービス ☐ その他 その他について具体的にご記入ください。
3. ビデオ医療通訳(遠隔通訳)がカバーしている日時 (複数のサービスを利用している場合は最も頻度の高いもの)	☐ 平日の日勤帯 ☐ 平日の夜間帯 ☐ 休日の日勤帯 ☐ 休日の夜間帯 ☐ 平日・休日問わず24時間 ☐ その他
4. ビデオ医療通訳(遠隔通訳)で利用したことのある言語 (該当するもの全てにチェック)	☐ 英語 ☐ 中国語 ☐ 韓国・朝鮮語 ☐ ポルトガル語 ☐ スペイン語 ☐ ベトナム語 ☐ タイ語 ☐ その他 その他について具体的にご記入ください。

3-7. 外国人患者の受入れに資するタブレット端末、スマートフォン端末、その他翻訳機器の利用状況について伺います。

質問	回答
1. 外国人患者の受入れに資するタブレット端末、スマートフォン端末、またはその他翻訳機器の導入状況	☐ 医療機関として導入している ☐ 医療機関として導入していないが、医療従事者が個人として使用することがある ☐ 医療機関として導入しておらず、医療従事者が個人として使用していない ⇒3-7-2. 機能へ ⇒3-8. 通訳体制を整備しない理由へ ⇒3-8. 通訳体制を整備しない理由へ
2. 端末等に備わっている機能 (該当するもの全てにチェック)	☐ マニュアル、説明書等、資料の表示 ☐ 決済機能 ☐ 翻訳機能 ⇒3-7-3. 機種・サービス名へ ☐ その他 その他について具体的にご記入ください。
3. (翻訳機能を備えている場合)機種・サービス名 (該当するもの全てにチェック)	☐ ポケットーク ☐ VoiceTra(ボイストラ) ☐ Google翻訳 ☐ メディフォン ☐ MELON ☐ その他 その他について具体的にご記入ください。
4. 翻訳機能を活用している場面 (該当するもの全てにチェック)	☐ 受付、問診時 ☐ 診察、検査時 ☐ 会計、薬の説明時 ☐ 入退院時の説明、入院中の対応時 ☐ その他 その他について具体的にご記入ください。
5. (翻訳機能を備えている場合)現在使用している端末等の使用時に対応に苦慮した場面	☐ 対応に苦慮した場面はなかった ☐ 対応に苦慮した場面があった ⇒3-8. 通訳体制を整備しない理由へ ⇒3-7-6. 具体的な場面へ
6. (翻訳機能を備えている場合)現在使用している端末等の使用時に対応に苦慮した場面の詳細 (該当するもの全てにチェック)	☐ 患者の話す言語に方言や訛りがある場合 ☐ 医療用語を翻訳する場合 ☐ 早口で話された場合 ☐ 話す文章が長い場合 ☐ 主語のない文や遠回しな表現の場合 ☐ 正しく翻訳されているか判断できない場合 ☐ そもそも何語なのか分からない場合 ☐ 通信環境が悪い場合 ☐ その他 その他について具体的にご記入ください。

3-8. 「3-5電話医療通訳」「3-6ビデオ医療通訳」「3-7翻訳機器の導入」が全て「なし」と回答した医療機関にお伺いします。貴院で通訳体制を整備しない理由、または整備する上で支障となっている事がありましたら具体的にご記入ください。

3-9. 院内案内図、院内表示について伺います。

質問	回答
1. 院内案内図、院内表示の状況	☐ 日本語以外に翻訳している ☐ 日本語のみ ⇒3-9-2. 対応言語へ ⇒3-10. 訪日外国人患者(医療渡航)の受入れへ
2. (翻訳している場合)対応言語 (該当するもの全てにチェック)	☐ 英語 ☐ 中国語 ☐ 韓国・朝鮮語 ☐ ポルトガル語 ☐ スペイン語 ☐ ベトナム語 ☐ タイ語 ☐ その他 その他について具体的にご記入ください。

3-10. 医療渡航の訪日外国人患者※の受入れについて伺います。

※医療渡航の訪日外国人患者とは、医療(健診含む)を受けることを目的に訪日した外国人のことをいい、日本に入国する前に、医療機関と調整をしていることを前提としています。来日後の急なけがや病気により医療機関を受診する場合は除きます。

質問	回答
1. 医療渡航の訪日外国人患者の受入れについて、今後の貴院の方針	☐ 積極的に受入れる ☐ 依頼があれば受入れる ☐ 受入れはしない ☐ まだ検討しておらず、方針も決めていない ⇒3-10-2. 受入れ方法へ ⇒3-10-2. 受入れ方法へ } ⇒3-11.多言語に対応するための取り組みへ } ⇒3-11.多言語に対応するための取り組みへ
2. 受入れ方法について (該当するもの全てにチェック) ※来日前から受入れ対応しているものが対象となります。来日後の急なけがや病気により医療機関を受診する場合は含まれません。	☐ 個人から直接 ☐ 渡航支援企業・身元保証機関を通じて ☐ 国内の医療機関からの紹介 ☐ 海外の提携医療機関からの紹介 ☐ その他 その他について具体的にご記入ください。

3-11. その他、貴院において多言語に対応するために行っている取り組みや、海外進出(海外にブランチ病院を作る等)の取り組みがありましたら、具体的にご記入ください。

4. 医療費について

4-1. 自由診療で外国人患者を診療する場合の医療費の請求方法について伺います。

質問	回答
1. 診療報酬点数表1点あたりの請求額(税抜き)※ ※決めていない医療機関は10円以下を選択してください。	☐ 1点あたり10円以下(保険診療と同じ) ☐ 1点あたり10円より大きく15円以下 ☐ 1点あたり15円より大きく20円以下 ☐ 1点あたり20円より大きい ☐ 診療報酬点数表を用いていない
2. (診療報酬点数表1点あたりの請求額を10円より大きく設定している場合)保険診療より高く設定している理由 (該当するもの全てにチェック)	☐ 通訳に関わる理由 ☐ 事務手続きに関わる理由 ☐ 診療時間に関わる理由 ☐ 未収金対策 ☐ 条例により定められている ☐ その他 その他について具体的にご記入ください。
3. 診療報酬点数表に含まれない費用の請求状況	☐ 追加的な費用請求をしていない ⇒4-1-5.「訪日外国人の診療価格算定方法マニュアル」へ ☐ 追加的な費用請求をしている ⇒4-1-4. 費用の内訳へ
4. (診療報酬点数表に含まれない費用を請求をしている場合)費用の内訳 (該当するもの全てにチェック) ※日本人患者と同様の対応は記載する必要ありません。	☐ 通訳料 ☐ 文書翻訳料 ☐ 旅行者保険・民間医療保険に関連する事務の費用 ☐ 外国の患者家族への説明等、外国との連絡に係る事務の費用 ☐ 医師の診療時間に応じた料金 ☐ その他 その他について具体的にご記入ください。
5. 「訪日外国人の診療価格算定方法マニュアル」 ※下記ホームページにアクセスして内容を確認した後、該当する回答を選択肢から選んでください。 https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/iryuu/newpage_08838.html	☐ 利用したことがある ☐ 内容を知っていたが利用したことはなかった ☐ 名前は聞いたことがあったが内容は知らなかった ☐ 知らなかった
6. 訪日外国人患者の診療にかかる時間 ※受付から会計まで、通常の保険診療の場合にかかる診療時間と比較してください。(概ねの状況認識での回答で可)	☐ 変わらない(同じ) ☐ 通常の保険診療時間の1.1倍より大きく1.5倍以下 ☐ 通常の保険診療時間の1.5倍より大きく2倍以下 ☐ 通常の保険診療時間の2倍より大きい
7. 訪日外国人患者の診療にかかる人員 ※受付から会計まで、通常の保険診療の場合にかかる職員の人数と比較してください。(概ねの状況認識での回答で可)	☐ 変わらない(同じ) ☐ 通常の保険診療に必要な人員の1.1倍より大きく1.5倍以下 ☐ 通常の保険診療に必要な人員の1.5倍より大きく2倍以下 ☐ 通常の保険診療に必要な人員の2倍より大きい
8. 訪日外国人患者の診療における時間単価 ※訪日外国人患者の診療を予定外の需要と考え、予定外の診療に従事する場合の時間単価を通常の保険診療の場合と比較してください。(概ねの状況認識での回答で可)	☐ 変わらない(同じ) ☐ 通常の保険診療における時間単価の1.1倍より大きく1.5倍以下 ☐ 通常の保険診療における時間単価の1.5倍より大きく2倍以下 ☐ 通常の保険診療における時間単価の2倍より大きい

4-2. 保険診療で外国人患者を診療する場合の医療費の請求方法について伺います。

質問	回答
1. 診療報酬点数表に含まれない費用の請求状況※ ※決めている医療機関は「追加的な費用請求をしていない」を選択してください。	☐ 追加的な費用請求をしていない⇒5. キャッシュレス決済へ ☐ 追加的な費用請求をしている⇒4-2-2. 費用の内訳へ
2. 保険診療外の費用として別途請求している費用 (該当するもの全てにチェック) ※日本人患者と同様の対応は記載する必要ありません。	☐ 通訳料 ☐ 文書翻訳料 ☐ 旅行者保険・民間医療保険に関連する事務の費用 ☐ 外国の患者家族への説明等、外国との連絡に係る事務の費用 ☐ その他 その他について具体的にご記入ください。

5. キャッシュレス決済について

キャッシュレス決済の導入状況について伺います。

質問	回答
1. クレジットカード(デビットカードを含む)を利用した決済	☐ 導入している ☐ 導入を検討している ☐ 導入していない
2. QRコードを利用した決済	☐ 導入している⇒5-3. 対応しているサービスへ ☐ 導入を検討している⇒5-4. その他電子マネーを利用した決済へ ☐ 導入していない⇒5-4. その他電子マネーを利用した決済へ
3. (QRコードを利用した決済を導入している場合) 対応しているサービス (該当するもの全てにチェック)	☐ Alipay(アリペイ) ☐ WeChat Pay(ウィーチャット・ペイ) ☐ PayPay(ペイペイ) ☐ 楽天ペイ ☐ auPAY ☐ d払い ☐ その他 その他について具体的にご記入ください。
4. その他電子マネーを利用した決済	☐ 導入している⇒5-5. 対応しているサービスへ ☐ 導入を検討している⇒5-6. その他の決済サービスへ ☐ 導入していない⇒5-6. その他の決済サービスへ
5. (その他電子マネーを利用した決済を導入している場合) 対応しているサービス (該当するもの全てにチェック)	☐ 交通系ICカード(Suica, PASMO, Kitaca, ICOCA, SUGOCA等) ☐ nanaco ☐ WAON ☐ 楽天Edy ☐ QUICPay ☐ その他 その他について具体的にご記入ください。
6. その他の決済サービス	☐ 導入していない ☐ 導入している サービス名についてご記入ください。

6. 未収金等への対策

6-1. 訪日外国人患者※を診療する際に実施している取り組みについて伺います。
※訪日外国人とは、観光等の目的で日本に短期間(90日以内)滞在する外国人をいいます。

質問	回答
1. 訪日外国人患者への取り組み状況※ ※日本人患者と同様の取り組みをしている場合は、「特に取り組みをしていない、または方針を決めていない」を選択してください。	☐ 特に取り組みをしていない、または方針を決めていない⇒6-2. 在留外国人患者へ ☐ 訪日外国人患者への取り組みをしている⇒6-1-2. 取り組みの内容へ
2. 取り組みの内容※ (該当するもの全てにチェック) ※日本人患者と同様の取り組みは、記載する必要ありません。	☐ パスポート等、身分証の確認・写しの保存 ☐ 連絡先・滞在先等の確認 ☐ 診療内容の事前説明 ☐ 価格について事前説明 ☐ 同意書・誓約書の取得⇒6-1-3. 同意の内容へ ☐ 海外旅行保険など医療保険の加入有無の事前確認 ☐ 支払い方法の確認 ☐ デポジット等事前支払いの対応 ☐ 訪日外国人受診者に医療費不払いが発生した場合の情報提供についての案内※ ※日本では保険医療機関で未払いを発生させた訪日外国人受診者が再び入国しようとする際に厳格な入国審査を実施しており、一定額以上の医療費の不払いのある訪日外国人受診者の情報は出入国在留管理庁に共有され入国審査に活用されること ☐ その他 その他について具体的にご記入ください。
3. (同意書・誓約書を取得している場合)同意の内容 (該当するもの全てにチェック)	☐ 診療に協力すること ☐ 請求された金額を支払うこと ☐ 医療通訳を利用すること ☐ その他 その他について具体的にご記入ください。

6-2. 在留外国人患者※を診療する際に実施している、本人確認について伺います。
※在留外国人とは、在留資格を持ち(在留カード所持者)、日本に中長期滞在(90日を超えて滞在)する者をいいます。

質問	回答
1. 保険証以外による本人確認	☐ 実施していない、または方針を決めていない⇒6-3. 医療費回収へ ☐ 実施している⇒6-2-2. 本人確認資料へ
2. (保険証以外による本人確認を実施している場合)確認の際に提示を求めているもの (該当するもの全てにチェック)	☐ パスポート ☐ 在留カード ☐ その他 その他について具体的にご記入ください。

6-3. 外国人患者の医療費回収に対して実施している方法について伺います。

質問	回答
1. 外国人患者への医療費回収の方法※ ※日本人患者と同様の取り組みをしている場合は、「特に取り組みをしていない、または方針を決めていない」を選択してください。	☐ 特に取り組みをしていない、または方針を決めていない⇒7. その他へ ☐ 外国人患者への医療費回収への取り組みをしている⇒6-3-2. 回収方法へ
2. 医療費の回収方法 (該当するもの全てにチェック) ※日本人患者と同様の取り組みは、記載する必要ありません。	☐ 外国人患者の宿泊先で宿泊費とまとめて支払い、後日宿泊先と精算 ☐ 渡航支援企業経由での支払い ☐ 預り金・前払いの実施 ☐ クレジットカードの利用 ☐ 分割払いの実施 ☐ 医療機関向け民間保険加入 ☐ 債権回収サービスの利用 ☐ 自治体による外国人未払い医療費補填制度の活用 ☐ その他 その他について具体的に記入ください。

7. その他

☐ 本調査結果について、外国人患者受入環境整備に関する研究に活用します。厚生労働省科学研究事業の研究者への共有に**同意しない場合**にチェックをつけてください。

8. ご担当者様の情報

本調査に関すること等を問い合わせる際のご連絡先をご記入ください。

ふりがな	
お名前	
ご所属・職名	
電話番号	
メールアドレス	

質問は以上です。本調査へのご協力ありがとうございました。